

【夏休み作品展】 9月23日～26日

夏休み作品展が島瀬美術センターで開催されました。中里中生徒の作品を紹介します。





郷土の魅力
二年 川尻 沙季

夏空流星群
中二年 野中 れい

雲破月来池
中里中二年 久田 晴香

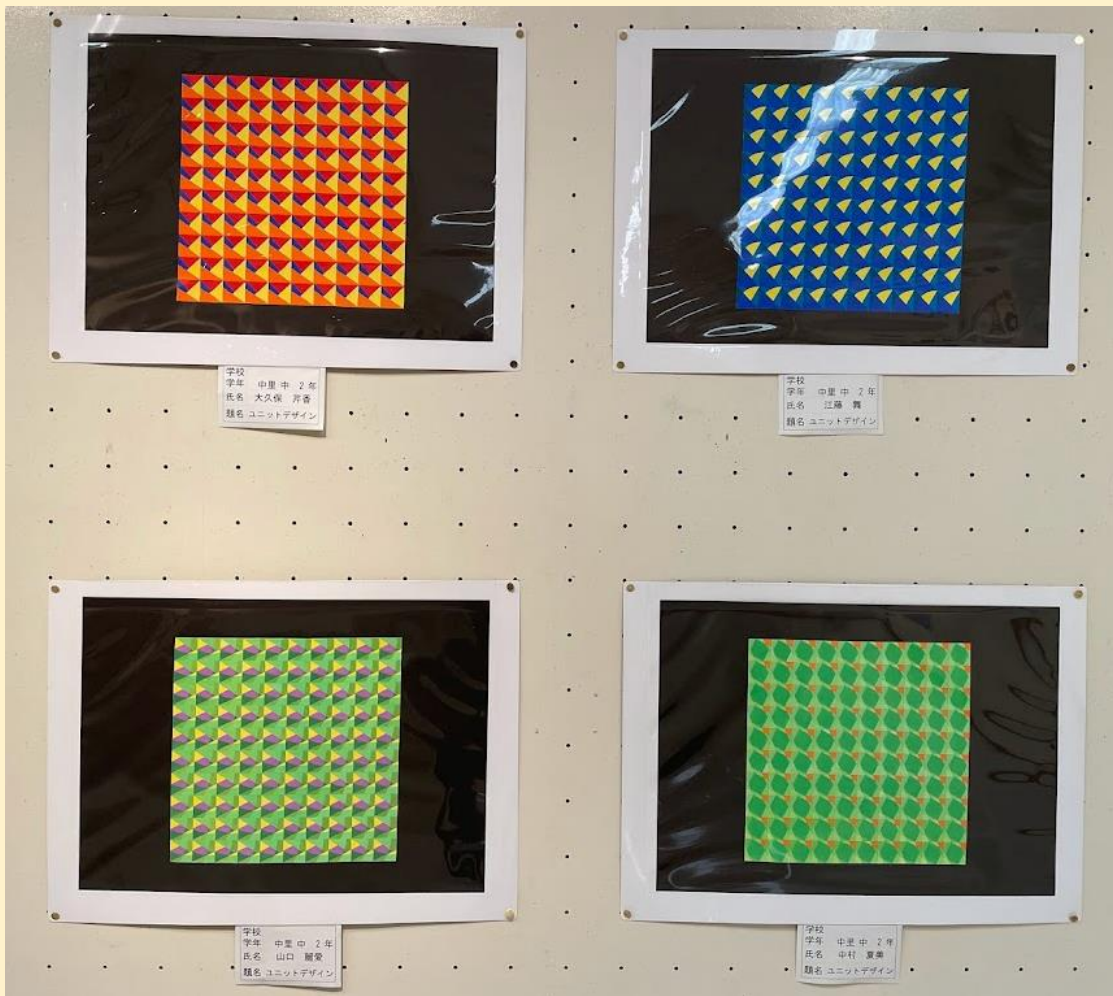
花舞う季節
三年 川又 春莉

生命を尊ぶ
三年 川崎 愛花

夏空流星群
中二年 川崎 愛花

花舞う季節
三年 川崎 愛花

花舞う季節
三年 川崎 愛花



□ ユニットデザイン

2年2組 大久保芹香

2年3組 江藤 舞

2年1組 山口麗愛

2年4組 中村夏美

身近な野草の観察とスケッチ

佐世保市立時里中学校 服部 桃々

1 目的

家の庭の片隅、道路の脇、公園等私たちの身近な場所に生育する野草の植物を観察し、その植物の特徴と植物の役割を調べる。

2 観察方法

- (1) 生活している身近な環境で、花が咲いている野草を探す。
- (2) 採集する前に周りの様子や植物の特徴、匂ったことなどをよく観察して記録(写真、メモなど)する。
- (3) 写真撮影及びスケッチを行う。
- (4) 花、葉、茎などから植物の名前を調べる。

3 観察結果

観察を行う植物3種類をA、B、Cと分類する。

①A、スケッチについては、別添のとおり。

(1) 植物A



危険なおにぎりの研究

1年1組 川番 杉谷 流風

< 動機 >

この間、自作のおにぎりを食べたら、食中毒になった。たまたま、ニュースを見た。それを見て、ぬるおにぎりを自分で作って食べると、食中毒を予防できるのか知りたくなった。

< 目的 >

どうしたら食中毒を防止して安心して食べることができるおにぎりをつくることができるかを検証してみる。

< 道具 >



- ・炊飯器
- ・しゃもじ



- ・サランラップ
- ・マヨネーズ
- ・定規
- ・保冷剤
- ・ハサミ



- ・おにぎり
- ・はかり
- ・お皿



- ・アルコール
- ・消毒液
- ・お皿



- ・保冷バッグ
- ・保冷剤



自由研究 1年1組 杉谷流風 「危険なおにぎりの研究」

「洗剤のしくみ」

2年1組 神原 礼依

(目的) いちばん汚れを洗剤を併せて落とすことができるのは、
どうしてだろうか？と疑問に思っ、そので調べてみる。

(用意したもの) 白い綿の布、毛布(約100%)、洗剤(食器用)
コソ、ウ、ゴマ油、透明なコップ(6個)
わりはし、水(100ml)

(準備) 水450mlと洗剤を混ぜる。その液をコップ3つに
150mlずつ注ぐ。残り3つのコップには、水だけと50ml
ずつ入れる。

(実験Ⅰ) 浸透作用を調べろ

よく洗って乾かした毛布を、A-1とB-1のコップに入れ、
毛布の裏面を観察する。



結果 洗剤+水は、すぐに毛布が濡れた。⇒ 洗剤の方が浸透
水だけの方は、なかなか濡れなかった。しずしい。

(実験Ⅱ) 乳化作用を調べろ

A-2とB-2のコップにゴマ油を数滴入れ、わりはしで、
かき混ぜる。混ぜる方を観察する。



結果 水の方は混ぜると浮いた。時間久了、毛布が濡れなかった。
洗剤+水は少し混ぜ、毛、時間かた、ゴマ油の色が薄くなった。

(実験Ⅲ) 分散作用を調べろ

A-3、B-3のコップに、コソ、ウをそれぞれ振り入れ、どのようになる
かを観察する。



結果 洗剤の方がコソ、ウが濡れた。
水のほうがコソ、ウが濡れた。

4ヶ所の砂の性質は 違うのか

1年4組 22番 宮田和佳

～この実験をしようと思った動機～

砂は土を見ている時が色や手ざわりが違ったり、場所によっても違ったり、砂の性質が異なるのか、気になった。

～目的～

場所によっても砂の性質が異なるのかを調べるため

～準備するもの～

①砂(海岸・公園・川・山・山頂) ②水 ③プラスチック容器 ④紙 ⑤

⑥顕微鏡 ⑦土の色 ⑧ビーカー ⑨色紙

～砂の採取場所～

①海岸の砂



②川沿いの砂



③山頂の砂



④公園の砂



～手順～

①砂を採取する(場所ごとに別の容器に入れる) ②砂を観察する



①採取



②観察



□ 自由研究 1年4組 宮田和佳

「4ヶ所の砂の性質は違いがあるのか」

雲
破
月
來
池

中里中
三年
久田
晴香

学校	中里中
学年	三年
氏名	久田 晴香
題名	書写作品